

発行日：平成 29 年 11 月 吉日
発行責任者：井上 博
所在地：岸和田市野田町 2-8-16

岸和田市議会 会派

新生改革クラブ NEWS!

4
Vol.

市民の声を届ける、雪本清浩・井上博・井舎英生所属会派「新生改革クラブ」の議会だより

怒り顔のアイコン ※ 市政パフォーマンスにNO!!

平成 28 年度の決算で新生改革クラブは一般会計の認定を否認しました。

なぜ否認したのか？

一般会計 741.1 億円の内、不用額 43.3 億円・繰越額 39.3 億円併せて 82.6 億円が執行されていないからです。

予算が余ったからと言って借金の返済には回せません。国からの借金は毎年返済する額がほぼ決まっています。公債費の項目で返済が予算化されています。28 年度事業を行うために予算計上しながら 11.4% の未執行額が決算で残ったということは、

「言い換えれば、理事者側は出来もしない、また歳入の見込みのない事業と知りながら、市民向けに各種事業に予算をつけ、あたかも積極的な市政運営をしているかのようなパフォーマンスをしていたとは思えない。」

例年決算において不用額や繰越は出ます、通常は 5〜8% ほどです。わずか 3〜6% 多いだけと思わないでください、金額にすれば 22〜44 億円にもなります。これだけの金額があれば公園や道路、学校などの教育環境の向上や保育の待機児童の解消にいくだけでも役立てることはできます。財政逼迫の折、不用な事業や当初計画になかった事業に流用することは絶対避けなければなりません。しかし市の行政は常に動いています。予算要求段階では潰れていなかった施設が急に故障や破損する場合もあります。また待機児童などは後わずかな金額を出すだけで解消する場合もあります。余った予算の流用を行うことで市民サービスを向上させるのが本来の市民目線の行政ではないでしょうか。

昨年 11 月の財政の悪化状況により流用を絞ったのかもしれませんが、28 年度決算はあまりにも不用額と繰越額が多いが目立ちます。

市民はともすれば予算に目が行きがちですが、本当に目をつけるのなら決算においてその執行額や執行率を見

るべきです。

下の表は一般会計の年度別決算比較ですが、平成 19・20 年度は野口市長の下、借金による財政難が大きく響き、現在の状況と同じぐらいに不用額を残しています。19 年度に出された財政推計により野口市長は危機感を覚え財政再生プランを策定し、以後 25 年度まで着実に財政の再生に取り組んでいました。

9 月議会での反対討論主旨

- ① 予算額と決算額との乖離が大きく、年度途中でのタイムリーな議会への報告がなされていない。
 - ② 26〜28 年度 3 か年の不用額は、40.3 億円、42.8 億円、43.3 億円と毎年恒常化しており、予算計上及び予算審査の信憑性が疑われる。
 - ③ 未執行や執行率の低い事業が多い。トップが意図的に予算執行を抑えたのではないか。
 - ④ 年度途中で不用額が多くなる見込みが出た時点で速やかに減額補正計上を行うと共に、市民が熱望している緊急性のある他の事業へ補正予算を計上すべきである。
 - ⑤ 今回の決算審査過程において明らかとなったのが、恒常的になっていく当初予算計上と多額の不用額との仕組みであり、議会における予算審査が真に市民から信頼される内容になるように理事者に求めなければならない。
- 以上の観点から、新生改革クラブとしては、一般会計の決算認定を不可とします。



決算書類一式

一般会計年度別決算比較表

(単位：百万円) (小数点 1 位四捨五入)

	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
予算現額	66,851	72,530	76,440	77,862	77,307	84,131	78,048	78,716	81,452	82,365
決算支出済額	62,765	65,231	70,150	72,324	72,138	77,689	72,884	73,832	76,761	74,108
次年度繰越額	1,856	4,701	3,166	1,425	966	2,880	1,597	855	412	3,928
不用額	2,231	2,599	3,124	4,113	4,202	3,563	3,567	4,028	4,279	4,329
繰越額 + 不用額	4,087	7,300	6,290	5,538	5,168	6,443	5,164	4,883	4,691	8,257
支出済額に対する比率	6.51%	11.19%	8.97%	7.66%	7.16%	8.29%	7.09%	6.61%	6.11%	11.14%
借金返還額	11,868	12,249	11,389	11,184	12,277	12,703	8,998	9,996	9,045	7,912
同上の元金額	10,102	10,599	9,871	9,790	10,969	11,498	7,892	8,998	8,167	7,172
同上の利子額	1,767	1,649	1,518	1,394	1,308	1,205	1,106	998	878	740
当時の市長	野口市長	野口市長	野口市長	野口市長	野口市長	野口市長	野口市長	信貴市長	信貴市長	信貴市長

質問 第3回定例市議会での一般質問

城下町である岸和田は江戸時代より近年まで非常に活気のある街でした。往年の活気を取り戻すため、観光文化都市岸和田を目指すべきだと思います。それに関連しての質問です。

Q 産業振興部の看板が魅力創造部に書き換えられたが、この部の目的は何か？目指す方向は？

A 部の変貌は、岸和田市の魅力をどう高めていくか、商工業、農林水産業、観光、文化など、それぞれの活動をより一層の発信していくことによってお互いの利点で結びつき、地域に根をおろした魅力を創造できるような環境を整え更なる賑わいの創出と交流人口の増加を目指したいと考え、また郷土愛の醸成を図ることで、訪問したいまち岸和田の実現に取り組んでいます。

Q 一層の発信をするという抽象的な表現は理解できない。

A 地域創生機能と地域魅力の向上を図るため、産業振興部を再編して文化国際課を加えた魅力創造部として再編するとなっている。

Q この5カ月間、その目的やミッションに向けて魅力創造部がどのように変貌しつつあるのか。

A より一層の発信、振興についてその目的に関して各課長が集まり各課の事業等について情報共有

と意見交換の形で環境の整備をしている。

Q 各課長が集まって話し合いをするのが変貌しつつあることか？新たに魅力創造部として予算を確保してどのような取組みをしているのか？

A 特に新しい予算は取っていない。

Q 部長の説明は、理解できない。この3カ年の部・課の事務概要を比較すると、一字一句全く一緒だ。主要参考事項と懸案事項についても一字の変化もない。単に名前・看板を変えただけだ。部長もその程度の認識であり部の目的・ミッションを達成する視点もなく部を運営しているのではないか。

A 事業の継続性を担保しており簡単にまとめる何々に関するという表現になる。さらに観光等々に関わる場所、目指す姿は観光資源の魅力を再発見し深化し、更なる賑いを創造するというふうなテーマで考えている。

感想

この答弁で魅力創造部とは何かわかりましたか？議会での質問に対する答弁としてこのような抽象論ばかりの内容では市が何をどのように変革しようとしているのか全く見えません。これでは「従来と何も変わらない。」「何も期待できない。」「単なる看板の書き換えであり、残念でなりません。今一度組織改編の目的である「地域創生機能と地域魅力の向上を図る。」ことを認識して組織の運営をお願いしたいものです。

報告 市庁舎建替特別委員会の設置



市役所本庁舎全景

6月議会において市役所本庁舎の建替特別委員会が議員提案で設置されることになりました。現庁舎は昭和29年に旧館、47年に新館が増設されて今日に至っています。耐震性もなく老朽化も著しいため庁舎建替庁内検討委員会が設置されその報告書が25年に提出されました。

平成28年度予算に庁舎建替のための基金が予算化され、いよいよ具体的に動き出したものです。新生改革クラブでは、庁舎はコンパクトな建物とし、市内5か所にある各市民センターにもっと多くの業務を移して市民がわざわざ本庁舎まで来なくてよいような体制を今後作るべきと考えています。箱物に金を掛けることなく市民ニーズにこそ費用を掛けるべきと考えています。

なんでや！ 財政再建を優先するためパスポートセンターの設置は当分見送る。

9月議会の前に理事者側より「パスポートの申請発給業務の設置については財政難のため見送る」との説明がありました。これは我々の会派が「2年前から近隣市に設置されているパスポートセンターを市民サービスの向上のためにも早急に設置されたい。」との要望を、折に触れ質問・要望し続けていた事業です。担当部局は、パスポート業務のため、年2700万円かかるが府から入る歳入は330万円であり、市が2370万円の持出しになるとのことです。人口規模の似通った和泉市では3年前より行っています。調べたところ年間経費として1600万円府からの歳入は340万円、市の持ち出しは1260万円程度とのこと。本市の企画部門はどんな査定や調査を行っているのか。



忠岡町パスポート窓口

うことが決まっています。わずかに1300万円の費用を惜しみ市民にそれ以上の費用と時間を費やさせてでも財政再建にまい進するべきかどうか。市民サービスの向上を考えると誰でもわかる簡単な話ではないだろうか。

新生改革クラブ NEWS! 編集後記

衆議院選挙が終わり・市長選挙とあわただしくなってきました。今回の号は9月議会の報告です。

※会派 News 第4号を政務活動費を使用して発行します。約5.6円/部×約62,000部=約35万円で5大紙にオリコミで配布しています。

「市民の声を届ける」岸和田市議会会派 新生改革クラブ

しかし問題は、りんくうタウンにあるパスポートセンターが平成31年3月をもって閉鎖されるため、その後は谷町4丁目大阪府庁まで行かねばならないことです。谷町4丁目まで電車で行けば、申請と受取の2回の往復で2680円と4時間が費やされます。

岸和田市の年間のパスポート申請者数は年間6千人を超えています。市役所が約1300万円の費用を惜しむため、市民は1600万円と2万4千時間を負担することになります。ちなみに、泉南各市町では平成30年10月までにパスポートの申請発給業務を役所で行



井上 博 (66) 幹事長 (1期)
文教民生委員・岸和田市貝塚市清掃施設組合議会議員
住所：野田町
携帯：090-3727-3227・FAX：072-433-5523
MAIL：h.inoue-2014@asahinet.jp
URL：https://www.inoue-kishiwada.com/



井舎 英生 (70) 副幹事長 (1期)
事業常任委員・庁舎建替特別委員
住所：春木中町
携帯：080-3103-9603・FAX：072-437-4779
MAIL：isha@zeus.eonet.ne.jp



雪本 清浩 (61) (4期)
岸和田市議会議長・総務常任委員
住所：磯上町
電話：072-438-3327・FAX：072-438-3327